

丹後はぐくみネットワークワーキング通信

京都府丹後教育局
TEL 0772-22-2175

第4号 (通算 22号)
FAX 0772-22-0479

平成 24年 9月 19日

HP <http://www.kyoto-be.ne.jp/tango-k/cms/>

保育所(園)・幼稚園・学校・家庭・地域社会全体で

子どもたちを包み込む
はぐくみの環境づくりを進めましょう



平成24年度
保幼小連携研修会より

～幼少期の教育の充実～

平成 24年 8月 8日(水)、与謝野町生涯学習センター知遊館において保幼小連携研修会を行いました。

管内の保育所(園)、幼稚園、小学校の先生方が一堂に会し、今年度は、子どもたちの自尊意識や規範意識の醸成を目指し、「自己肯定感を高める教育活動のあり方」や「家庭との連携」について研修しました。

ほめられると自己肯定感が高まり、自分に自信をもてるようになります。

講演 一部紹介

「ほめて育てる地域づくり」

中丹東保健所 弓削 マリ子 所長

大事なことは!

「ほめ上手」になることです。

上手なほめ方 (好ましい行動への対応)

○好ましい行動が見られたらほめましょう。

- ・すぐに ・近づいて ・感情を込めて
- ・簡潔に、具体的に ・親や先生の気持ちも

○ささいな「好ましい行動」に注目することを心がけ、気付いたら、こまめにほめましょう。

○何がよかったか、具体的にことばで伝えましょう。

○指示に従い始めたら 25%(少しできたところ)で、まず1回ほめましょう。

すぐに役立つしつけのコツ

- ・穏やかに ・・・・大人自身が気持ちを落ち着けて
 - ・近づいて ・・・・子どもの注意を引いて
 - ・落ち着いて ・・・・落ち着いた声で
 - ・指示は簡潔に ・・・・短文で肯定的に
- 例: ○○しましょう。



子どもの気持ちに寄り添い、かわり方を工夫することで、子どもの自己肯定感が高められます。

まずは!

「ありがとう」は最高のほめことば

子どもと子ども、保護者と子ども、先生と子ども、保護者と先生、保護者と保護者、先生と先生・・・

日々、お互いほめあって(感謝して)大人も子どももお互いを大切にする風土づくりが大切です。

連携ナビゲーション

～学校・家庭・地域社会の連携を推進するために～

京都府丹後保健所では

ほめ方のコツについて

管内では、京都府丹後保健所が幼児の保護者を対象に「ほめ方教室」(6回シリーズ)を実施しています。また、保育所(園)や幼稚園、学校に対しては「ほめ方のコツ」をテーマに出前講座(職員出前語らい)を実施しています。

保育所(園)や幼稚園、小学校における保護者交流の場や「親のための応援塾」、地域の子育て支援活動の場などで活用してみたいかがでしょう。



実施しています。

講座の内容など、詳しくは京都府丹後保健所までお尋ねください。

TEL 0772-62-4312